

長野県立大学安否確認等情報伝達システム運用業務 要件整理表

1 基本機能要件

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	基本機能	配信対象	利用者への電子メールや専用アプリケーション、ウェブサイトを介した一斉送信に対し、利用者から応答が可能なこと	◎
2			約1,300名に対し、簡易的な操作で一斉配信が可能なこと	◎
3			配信先は複数設定できること。また、配信先の追加修正ができること	◎
4			電子メール送信は、災害発生等によりネットワークが混雑している場合でも、携帯電話会社（大手3キャリア）で制限されることなく請負者から携帯電話会社へメールが送信されること	◎
5		配信速度	配信対象メールアドレス等に対し、配信から概ね5分以内に利用者に対し配信できる性能を備えていること	◎
6		配信担保性	請負業者と主な携帯電話会社の間で輻輳規制を受けない、特定接続が行われていること	○
7			大量の一斉メール配信時における輻輳対策を講じること	◎
8			システム障害や輻輳等で電子メールの利用が困難な場合、利用者がID・パスワード等の個人認証コードを入力しなくても、簡易かつ自主的に安否、出勤可否等のこうも奥を報告可能なこと	◎
9			インターネットに接続可能な携帯電話からの利用は、日本国内でサービスを提供している全てのキャリアの機種に対応していること	◎
10		利用者情報登録	1利用者につき2つ以上の電子メールを登録が可能なこと	◎
11			1利用者につき1つのIDと利用者名が登録可能なこと	◎
12		カテゴリ設定	利用者を、複数階層グループで管理が可能なこと	◎
13			複数階層グループは5以上設定できること	◎
14			グループに管理者を設定可能なこと	◎

(1) システム管理者側機能

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	システム 管理者設定	アカウント	同時ログイン、同時接続可能なシステム管理者アカウントを複数設定できること	◎
2			システム管理者を10以上設定可能なこと	○
3			アカウント数に制限なく利用できること	◎
4			運用開始後も、システム管理者アカウントの追加・修正・削除ができること	◎
5		認証	システム管理画面に接続する際、ID、パスワード等による認証を行う仕組みを有すること	◎
6		システム管理者権 限	一斉配信、安否状況確認等の操作が容易に可能なこと	◎
7			安否、出勤可否等の設問及びそれに対する回答の文面を任意に設定可能なこと	◎
8	管理機能	利用者データの管 理	システム管理者による利用者データの一括登録・更新が容易に可能なこと（その方法とは、発注者の指定するシステム管理者が利用者データを任意に登録・更新できる方法以外に、発注者側が保有するマスターデータを一括で取り込む方法があること）	◎
9			システム管理者による利用者データの一括ダウンロードが容易に可能なこと	◎
10			利用者データをダウンロードする場合、利用者の電子メールアドレスは、システム管理者であっても抽出不可であること	◎
11	配信機能	平時利用	一斉配信は、安否確認以外の目的でも容易に利用可能であり、システム管理権限を付与された利用者により一斉配信可能なこと	◎
12		配信先	利用者個別指定及びグループ指定による一斉送信が可能なこと	◎

長野県立大学安否確認等情報伝達システム運用業務 要件整理表

13	手動配信	案文作成	利用者を対象とした、一斉配信用の案文の作成・送信が容易に可能なこと	◎
14			インターネットに接続可能な携帯電話及びパソコン等情報通信機器から一斉配信、安否状況確認等の操作が容易に可能なこと	◎
15			安否、出勤可否等の設問及びそれに対する回答の文面を任意に設定可能なこと	◎
16			メール作成時に利用するテンプレートはカテゴリごとに複数登録できること	◎
17			過去に配信したメール内容を履歴として参照できること	◎
18			日時、配信先、キーワードなどで履歴検索が可能なこと	○
19			任意の履歴を再編集し、これを元に新たに一斉配信用の案文の作成ができること	◎
20			自動配信	自動配信
21	安否、出勤可否等の設問及びそれに対する回答の文面を任意に設定可能なこと	◎		
22	大規模地震が発生した場合、気象庁発表情報を元に、単にシステム的に一斉配信するのではなく、誤報情報か否か等の情報の正確性を判断するための人による判断を行い、一斉配信できる仕組みであること	○		
23	大規模地震の際の余震については、一定の判断の下で、本震とした一つの事象として管理が可能であり、余震発生毎に不要な一斉配信がされない工夫がされていること	◎		
24	同時期に発生した複数の災害に対して、複数災害事象として同時に管理ができ、各々の事象ごとに安否確認が行えること	◎		
25	指定する利用者に対して、本学があらかじめ設定した震度以上の地震が発生した場合、気象庁の地震情報をもとに、発生時刻、確定震度、確定震源地（都道府県単位）等の情報を自動的に配信する機能を有すること	◎		
26	台風、原子力災害等の災害関連情報を自動的に配信する機能を有すること	○		
27	弾道ミサイル情報（国民保護に関する情報）でミサイルが日本の領土・領海に落下した場合、またはミサイル落下場所等の都道府県が発表された場合、自動的に配信する機能を有すること	○		
28	配信結果確認	統計機能等	安否情報及び出勤可能状況に関する職員の回答状況を自動集計し、一覧で確認できること	◎
29			回答結果は項目ごとに集計表示できること	◎
30			集計情報をグラフ表示することができること	○
31			連絡状況を管理者がCSV等のデータでダウンロードできること	◎
32			連絡状況を特定のグループや個人へ報告することができること	◎
33		結果に対する配信機能	一斉配信に対する未応答者や特定の回答を行った者に対して、再度の一斉配信が容易に可能なこと	◎
34		代理回答機能	何らかの事情により利用者自身が回答できない場合、システム管理者による手動での代理回答が可能なこと	◎
35		配信先の有効性確認	登録してある各利用者の電子メールアドレスが有効であるか無効であるか、定期的にシステムが確認し、その結果をシステム管理者が閲覧可能である機能を備えていること	○
36	掲示板機能	掲示板機能	緊急時に情報を掲示する場所（掲示板）が確保できること	◎
37			掲示板のコメントは、掲示板の管理者にメール通知できること	○
38			特定部門に限定した掲示板を作成できること	○

長野県立大学安否確認等情報伝達システム運用業務 要件整理表

(2) グループ管理者側機能

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	グループ 管理者設定	アカウント	同時ログイン、同時接続可能なグループ管理者アカウントを複数設定できること	◎
2			グループ管理者を30以上設定可能なこと	◎
3			1つのグループに2名以上のグループ管理者を登録可能なこと	◎
4			アカウント数に制限なく利用できること	○
5			運用開始後も、グループ管理者アカウントの追加・修正・削除が可能なこと	◎
6		認証	グループ管理画面に接続する際、ID、パスワード等による認証を行う仕組みを有すること	◎
7		グループ管理者権 限	設定された配下のグループ情報のみ閲覧・管理とすること	◎
8			設定された配下のグループの職員の応答内容に対し、返答が可能なこと	◎
9	管理機能	利用者データの管 理	グループ管理者による配下のグループ利用者データの一括登録・更新が容易に可能なこと	◎
10			グループ管理者による配下のグループ利用者データの一括ダウンロードが容易に可能なこと	◎
11			配下の利用者データをダウンロードする場合、利用者の電子メールアドレスは、グループ管理者であっても抽出不可であること	◎
12	配信結果確認	統計機能等	安否情報及び出勤状況に関する職員の回答状況を自動集計し、一覧で確認できること	◎
13			回答結果は項目ごとに集計表示できること	◎
14			集計情報をグラフ表示することができること	◎
15			連絡状況を管理者によりCSV等のデータでダウンロードできること	◎
16			連絡状況を特定のグループや個人へ報告することができること	◎
17		結果に対する配信 機能	一斉配信に対する未応答者や、特定の回答を行った者に対して、再度の一斉配信が容易に可能なこと	◎
18		代理回答機能	何らかの事情により利用者自身が回答できない場合、グループ管理者による手動での代理回答が可能なこと	◎
19	配信先の有効性確 認	登録してある各利用者の電子メールアドレスが有効であるか無効であるか、定期的にシステムが確認し、その結果をシステム管理者が閲覧可能である機能を備えていること	○	
20	掲示板機能	掲示板機能	緊急時に情報を掲示する場所（掲示板）が確保できること	◎
21			掲示板のコメントは、掲示板の管理者にメール通知できること	○
22			特定部門に限定した掲示板を作成できること	○

(3) 利用者側機能

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	利用者設定	アカウント	1利用者につき2つ以上の電子メールを登録可能なこと	◎
2			1利用者につき1つのIDと利用者名が登録可能なこと	◎
3			プライベート連絡先の個人情報は各個人で更新できること	◎
4			プライベート連絡先のデータメンテナンス手段があること	◎
5			利用者の登録項目を6以上自由に設定することが可能なこと	○
6			単一選択、コメント入力方式に対応できること	○
7	認証	システム障害や輻輳等で電子メールの利用が困難な場合、利用者がID、パスワード等の個人認証コードを入力しなくても、簡易かつ自主的に安否、出勤可否等の項目を報告可能なこと	◎	
8	画面	画面	利用画面では、日本語と英語の切り替えが可能なこと	◎
9	回答機能	配信への回答	管理者からの配信に対し、応答ができる（自由記述、項目等）こと	◎
10		自主応答機能	メール等の通知に関係なく、自主回答ができること	○
11	掲示板機能	掲示板機能	緊急時に情報を掲示する場所（掲示板）が確保できること	◎
12			掲示板にはコメントが書き込めること	◎
13			掲示板のコメントは、掲示板の管理者にメール通知できること	○
14			特定部門に限定した掲示板を作成できること	○

長野県立大学安否確認等情報伝達システム運用業務 要件整理表

2 信頼性要件

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	信頼性要件	信頼性要件	災害発生時に主たる拠点となるデータセンターが倒壊し、サービス提供ができなくなった場合は、本サービスを停止することなく別の拠点にてサービス提供が可能なこと	◎
2			新機種の携帯電話及びパソコン等情報通信機器が発売された場合、また情報通信機器に対応するオペレーティングシステムが更新された場合には、新機種においても本システムが利用可能になるよう速やかに対応を行うこと	◎
3			震度5強以上の地震発生時に約1,300名以上の対象人員に対して地震速報情報及び安否確認をメールで滞りなく配信した実績を有すること	◎

3 セキュリティ要件

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	セキュリティ	セキュリティ	本学の「情報セキュリティポリシー」を遵守すること	◎
2			情報漏洩対策として、本システムに利用者がアクセスした際に受診する情報は受信者側の端末に蓄積させないこととし、原則サーバ側に蓄積させた情報を、受診者側から参照可能なこと	◎
3			個人情報や管理機能部分においては、SSL/TLSによる暗号化機能を付加したプロトコルでサーバとブラウザ側の通信を暗号化すること	◎
4			本システムへの不正ログインを防止する機能を有していること	◎
5			本システムをAPSサービスで提供するにあたり、ASPサービスが用いるシステム・データ領域は本学専用とすること	○
6			提供された本学専用のシステム・データ領域については、本学対象人員及び本学向け本システムの保守・運用監視のために必要な者のみアクセス可能とする対策を講じること	◎
7			ISMSもしくはISO27001を取得していること。又はJISQ15001に適合したマネジメントシステムを有することについて、第三者の制度による認証を受けていること	◎
8			受注者は、本サービスの契約（以下、「本契約」という。）内容の全部または一部を第三者に再請負しないこと	◎
9			個人情報の取扱については、本学が別途示すものを遵守すること	◎

4 保守・運用監視要件

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	保守・運用監視	保守・運用監視	24時間365日、本サービスの運用監視及び保守を行うこと	◎
2			本サービス提供期間中、本サービスの利用全般に対し、障害等が発生した場合には、責任をもった原因の特定・切り分け、対処案の策定のため速やかな情報提供を総務・経営企画課へ行うとともに、受注者の負担で障害等の対応を行うこと	◎
3			定期的に、本学が指定した特定のシステム管理者あてに訓練用の災害通知メールを送信し、正常にメールが受信されていることを確認すること	◎
4			ユーザー操作に関する問い合わせ窓口等のサポート機能を有すること	◎

5 データセンター要件

項目	大分類	小分類	詳細	◎必須要件 ○希望要件
1	データセンター	データセンター	本サービスは、2か所以上のデータセンター内に設置されたシステムで提供されるサービスであること	◎
2			相互のデータセンター間は、概ね300km以上離れていること	○
3			本サービス提供のための主たる拠点となるデータセンターについては、災害監視及びシステム監視要員が常駐し、24時間365日、データセンターの運用監視及び保守を行うこと	◎
4			本サービスを提供するデータセンターは以下の耐震強度を有すること	◎
5			主たる拠点となるデータセンター：震度7相当の地震で建物が倒壊しないこと	◎
6			別の拠点：震度6相当の地震で建物が倒壊しないこと	○